平成29年度学校関係者評価報告

1 本年度の重点目標

- (1) 自ら学ぶ態度と基本的な学習習慣を身につけよう
- (2) 自律性ある健全な基本的生活習慣を確立しよう
- (3) 自己の将来を考え、目的意識をもって進路選択しよう
- (4) 生命の尊さを自覚し、交通安全を積極的に遂行しよう
- (5) 思いやりの心をもって相手の立場を尊重しよう

2 本年度の経営方針

- (1) 時代の変化に対応する高等学校教育について研修を深め、全教職員の共通理解に基づく協働体制の確立を図る
- (2) 学級経営を中核にすえた運営組織の確立と推進により、活力ある学校づくりに努める
- (3) 校内研修会を充実・促進して、学校課題の解決を図るとともに、教育実践の創意工夫に努める
- (4) 工業技術を学ぶ意義を体得させ、学習環境の整備と健康・安全指導の徹底を図る
- (5) 家庭や地域社会との連携を深め、「開かれた学校づくり」をめざす

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

- 1) 右欄「自己評価の適切さ」、「改善に向けた取組の適切さ」を下記の評価基準にて評価下さいますようお願いいたします。
- 2) 評価の参考資料として別紙平成27年度自己評価書、及び年度末反省資料定時制を参照下さい。
- 3) 「関係者評価者の意見」欄には、各分野・領域へのご意見等をお願いいたします。
- 4) 「学校関係者評価におけるご意見」欄には、定時制への忌憚のないご意見をお寄せ頂ければ幸いです。

※評価基準 A：充分である B：概ね充分である C：不十分である D：改善を要する

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
学習指導	(1) 生徒一人一人を生かす教育活動の推進に努める。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒把握の推進 ・個に応じた教育の推進 ・学年・担任・副担任の連携 ・基礎基本の定着 ・授業規律の確立 	A	A
	(2) 教職員の連携のもと学習意欲を高める指導方法を工夫する。	A	A			
	(3) 図書・視聴覚教育の充実を図り、豊かな人間性を育成する。	B	B			
	(4) 教務内規の検討と改善に努める。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、生徒一人一人の能力の把握に努め、課題達成度に応じた補習体制を敷き基礎的・基本的学力の定着に努めた。専科における実習課題においても基礎技術の伝達や作品完成度に対し、妥協せず、手厚く指導を行った。 ・資格取得のための講習（危険物取扱者・ガス溶接・ワープロ検定・情報処理検定・技能検定（建築大工）・基礎製図検定）などを実施。生徒の進路を踏まえ資格取得に向けて今後も取組を強化していく。 ・基本的生活習慣の確立、学習への興味・関心、学習意欲の向上を目指すと共に、学校教育の 					

	<p>中心である授業において、授業規律の確立に向け注力した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2週間の公開授業週間を実施し授業の質の向上に努めた。 ・ 1年生の高校生活の定着に向けて教育相談、補習等に組織的に取り組んだが、学校生活になじめずに、退学する生徒数の減少とはならなかった。今後も、高校への定着に向けた取組の強化が必要である。 					
生徒指導	(1) 基本的な生活習慣の育成に努める。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題行動防止及び再犯を起こさせない生徒指導の充実 ・ いじめ暴力をゆるさない体制の充実 ・ 交通安全指導の充実 ・ 学校行事の活用による心の教育の推進 ・ 生徒数減少による活動の衰退に対応の工夫 	A	A
	(2) いじめや問題行動の防止に向けた指導に努める。	B	B			
	(3) 交通安全意識の向上と交通事故防止に努める。	A	A			
	(4) ホームルーム・生徒会活動の充実に努める。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の非行事故発生件数は、全学年で8件、指導対象生徒数は9名であった。また再犯も無く、いじめもアンケート調査の結果認められず、粘り強く教育相談的生徒指導を展開してきた結果が出てきたものと考えられる。 ・ 1年を通じた登下校指導、交通安全講話、車種別交通安全指導を行い、交通安全、交通マナーの指導を推進しており、今年度も大きな事故は起きていない。引き続き、交通安全指導を推進して行く。 ・ 今年度も、生徒会役員生徒の更なる成長を目指し、苫小牧東高定時制との生徒会交流会を行った。今年度は苫小牧東高校で交流会を実施し、新生徒会役員による情報交換が活発に行われた。 ・ 野球部、バスケットボール部、バドミントン部、卓球部、工業技術研究部等、部活動の活性化を図り、めざましい成果を挙げた。特にバスケットボール部及び卓球部、バドミントン部については全道大会出場を決めた。 					
進路指導	(1) 自己理解と望ましい職業観・勤労観を育成する進路指導に努める。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在校生の就労の推進 ・ 低学年からの進路指導の推進 ・ 専門機関との連携と進路相談員等外部有識者の活用 ・ 若者サポートステーションとの連携 	A	A
	(2) 学校、家庭、職場の連携を密にし、進路選択の支援に努める。	A	A			
	(3) 進路に関する情報の収集と効果的な情報提供に努める。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早期の職業観・勤労観育成を目指し、1学年（オリエンテーション、サポステ面談を通じて就労指導）2学年（労働講座2回、進路講話を通じて勤労観の育成）3学年（労働講座1回、外部講師による進路講話、進路集会）4年生（労働講座2回、外部講師による模擬面接、進路集会）を実施した。 ・ 4学年の5月を進路相談月間と定め全生徒と進路面談を実施し、6月進路開拓を目的とした企業訪問を実施した。 ・ 若者サポートステーションとの連携により、1年生を重点的に個人面談などを実施した。 ・ 就職斡旋において、本校全日制と求人先・情報等で連携を深めると同時に、教育局の進路相談員、ハローワークの情報・人材の活用を図った。 ・ 進路決定者100%を目指し、今後も進路相談などの活動を継続的に実施していく。（現在、就職内定者19名、進学先決定者2名） 					
健康安全指導	(1) 学校生活の環境整備を行い、疾病予防、災害防止に努める。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習環境の整備の推進 ・ 疾病・流行性感冒の予防の推進 ・ 給食を通じ生徒の健康管理と食育の啓発 	B	B
	(2) 健康保持への意識を高め、健康増進への態度を育成す	A	A			

	る。 (3) 給食を通して、正しい食習慣に対する意識を喚起する。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自ら緊急時の対応が出来るように、苫小牧消防署の協力を得て、1年生を対象にAEDの使用を含めた心肺蘇生法の講習会を実施した。 給食メニューの周知を図った他、給食アンケートを実施し、給食を通じ食の大切さの啓発を図った。 保健講話として全学年対象とし「性教育講話」を実施した。 					
組織運営	(1) 分掌間の連携を密にして校務の効率化を図る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織の効率的活用の推進 定時制後援会、市定通振興会等との連携の推進 	B	A
	(2) 後援会、振興会等との連携により、学校運営の円滑化を図る。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 総務部を中心として、各分掌との連携を図り当番校業務、学校行事に当たり効率的に業務を遂行した。 生活体験発表大会において3年連続全道大会出場を果たした。 					
研修	(1) 校内研修を推進し、実態を踏まえた学習指導を研究する。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 実践的校内研修の推進 	A	A
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 4回の校内研修を実施。定時制の現状、特別支援、教育課程などについて研修を行い、全教職員の課題の共有化が図られた。 					
保護者地域住民等との連携	(1) 保護者や地域との連携を強化し、教育活動への理解を得る。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 行事等による保護者・地域との更なる連携の推進 地域や企業との連携の推進 	B	A
	(2) 市内定通振興会を活発化させ、地域や企業との連携を図る。	B	B			
評価者の意見	<ul style="list-style-type: none"> 保護者説明会、学校祭、体験入学を通じて本校教育活動の情報発信に努めた。行事等を活用し保護者や地域との更なる連携に努めたい。 					

4 学校関係者評価におけるご意見

<ul style="list-style-type: none"> 以下の5つの項目について、継続的に取り組む。 落伍者を出さないための個に応じたきめ細かな指導の推進（学習指導・生徒指導・進路指導） 基礎学力の定着を図る学習指導と自ら学ぶ態度を育成する教育の推進（学習指導） 働きながら学ぶ生活習慣の確立と規律ある学校生活のための生徒指導の推進（生徒指導） 生徒とのふれあいを大切にした特別活動の推進（生徒指導） 低学年からの進路指導の推進（進路指導）